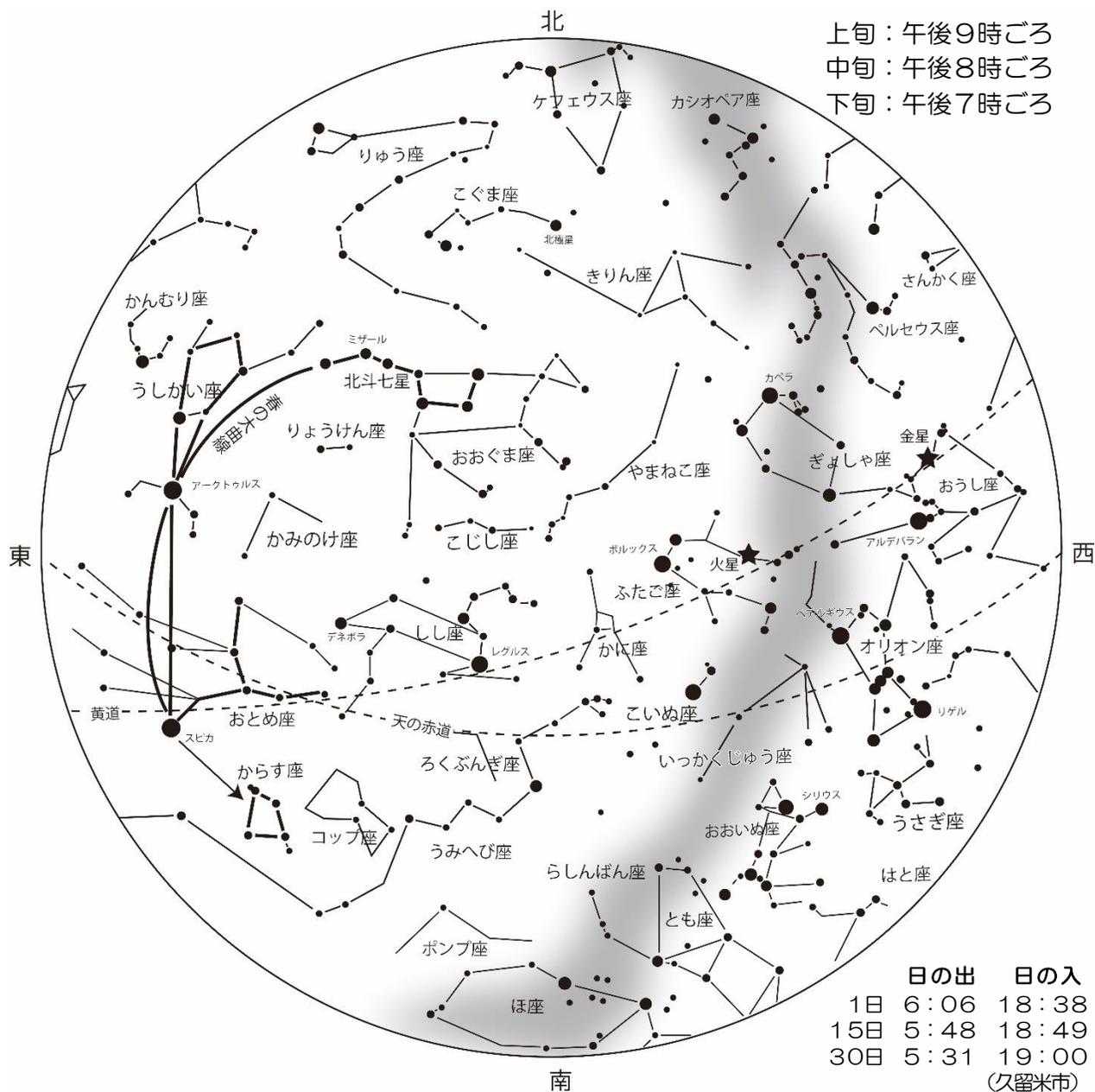


令和6年 4月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★4月の星空案内

今月は東の空から南の空へかけて春の星座を見ることができます。春の星座探しは、北の空にある7つの星でつくる「スプーン」のような星の並び“北斗七星”から始めます。北斗七星を星座とされている方が多いかもしれませんが、**おおぐま座**の背中からしっぽにあたる部分になります。北斗七星を「スプーン」に見立てたとき、持ち手の部分からカーブに沿って南へのぼしていくとオレンジ色っぽく輝くうしかい座の1等星**アークトゥルス**が見つかります。さらにカーブをのぼしていくと、白っぽく輝くおとめ座の1等星**スピカ**が見つかります。うしかい座はアークトゥルスから北側にのびる「ネクタイ」のような星の並びが目印です。おとめ座はスピカから「アルファベットのyの字」のような星の並びが目印です。北斗七星からスピカまでのぼした大きなカーブは『**春の大曲線**』といい、春の星座探しのよい案内役になります。

そして南の空高いところに見える1等星の**レグルス**をたよりに、「？」マークをひっくり返したような星の並びが見つかります。この星の並びは“**ししの大がま**”といい、しし座を見つける目印になります。また、しし座のしっぽで輝く星が2等星の**デネボラ**です。

うしかい座のアークトゥルスとおとめ座のスピカ、しし座のデネボラを結んでできる三角形を『**春の大三角**』といいます。

晴れた夜には、春の夜空に描かれる『春の大曲線』と『春の大三角』を目印に、春の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【見ごろの惑星】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

水星 (3.2等前後) : うお座付近	観望に適さない。
金星 (-3.9等前後) : うお座付近	観望に適さない。
火星 (1.1等前後) : みずがめ座→うお座付近	観望に適さない。
☆木星 (-2.0等前後) : おひつじ座→おうし座付近	日の入り後、西の空で明るく輝く。(上旬→中旬)
土星 (1.1等前後) : みずがめ座付近	観望に適さない。

注目の天文現象(4月)～木星とプレアデス星団に近づく月を観察してみよう～

4月上旬から中旬にかけて木星が日の入り後、西の空低いところで明るく輝いています。この木星に、月が4月10日(水)に近づきます。10日の日の入り後、木星に近づく月は月齢2(新月の翌日)の細い月です。月齢2の月は非常に細くて見えにくいので、なかなか見られるチャンスがありません。10日は木星の右下に位置しているため、明るい木星を目印に月を探してみるとよいでしょう。また、4月11日(木)には、月がプレアデス星団(すばる)に近づきます。この日は三日月であり眩しくない月なので、月とプレアデス星団の両方を楽しむことができます。4月の中旬以降は、8月まで木星の観察をすることができなくなります。この機会に木星とプレアデス星団、月を楽しんでみてはいかがでしょうか。

日の出	日の入
1日 6:06	18:38
15日 5:48	18:49
30日 5:31	19:00

(久留米市)

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
2	火	☾ 下弦 (12:15)	16	火	☽ 上弦 (4:13)
9	火	● 新月 (3:21)	24	水	○ 満月 (8:49)